

地域音楽コーディネーター養成講座【オンライン1月】

当日スケジュール（進行状況により変更する場合がございます）

2025年1月26日（日）

時間	講義・講師名
09:30 ～ 10:00	受付：Zoomのアカウント名は、必ず「 申込者名 」でご参加ください。出席確認します。 変更方法は、 https://applimura.com/zoom-name-change/ をご参照ください。
10:00 ～ 10:10	オリエンテーション
10:10 ～ 11:10 講義60分	① 生涯学習と音楽 これからの音楽の学び 地域音楽コーディネーターの展望
	事前動画：なし 課題：あり（事前質問） レジューメ：あり 講義資料：あり
講師	河原 啓子 （国立音楽大学・青山学院大学・立教大学兼任講師、アートジャーナリスト アートドキュメンタリー作家（日本文藝家協会正会員））
出席確認方法	ビデオ設定をオンにしてご参加ください。画面上で出席確認します。
11:20 ～ 12:20 講義60分	② 文化と地域創生 文化を活かしたまちづくり
	事前動画：なし 課題：なし レジューメ：あり 講義資料：あり
講師	広中 省子 （ジョイントフェスティバル協議会 会長）
出席確認方法	ビデオ設定をオンにしてご参加ください。画面上で出席確認します。
12:20 ～ 13:30	昼食休憩
13:30 ～ 14:30 講義60分	③ 地域文化マネージメント 地域連携と音楽活動：誰もが自由で、創造性を発揮できる共生社会の実現を目指して
	事前動画：なし 課題：なし レジューメ：あり 講義資料：あり
講師	菊川 穰 （一般社団法人エル・システムジャパン代表理事、公益財団法人音楽文化創造 理事）
出席確認方法	ビデオ設定をオンにしてご参加ください。画面上で出席確認します。
14:40 ～ 16:40 グループワーク 120分	④ 音楽企画書の書き方 ターゲットを明確にして、キャッチフレーズを考えれば、企画は自ずと出来上がる！
	事前動画：なし 課題：なし レジューメ：あり 講義資料：あり
講師	大谷 邦郎 （グッドニュース情報発信塾 塾長）
受講の流れ	受講者をグループ（5～6名）に分け、Zoom「ブレイクアウトルーム」を利用しグループワークを実施。グループごとに企画し内容を発表します。
16:40 ～ 16:50	まとめ

講師プロフィール

河原 啓子

国立音楽大学・青山学院大学・立教大学ほか兼任講師、
アートジャーナリスト、アードキュメンタリー作家（日本文藝家協会正会員）

博士（芸術学）。芸術社会学、アートマネジメント論。近年の研究は「音楽情報を伝達する方法の多様化について ヴィジュアル・キャラクター：越境する表現領域」（国立音楽大学研究紀要第57集、2022年）、「新型コロナ時代における生演奏をめぐる試論」（同第56集、2021年）、「超高齢化社会におけるアートの存在意義」（同第55集、2020年）ほか。音楽とアート全般を横断的に見据えた考察を行う。第3期東京都生涯学習審議会委員、第13期東京都福祉のまちづくり推進協議会委員、第8期練馬区環境審議会委員ほか行政委員。

広中 省子

ジョイントフェスティバル協議会 会長

36年前3人の子どもの育てる中で、「地域に子育てと文化でつながる仲間を広げ、舞台芸術をととして子どもも大人も人間性豊かに育ち合う」ことを目的とする「おやこ劇場」に出会う。以来、日進おやこ劇場運営委員長、子ども・おやこ劇場東海連絡会運営委員長、子どもと文化全国フォーラム理事などを歴任し、子どもや地域の文化活動に深くかかわってきた。2018年、市民公募で長久手市文化の家館長に就任、退職後2022年4月より現職。公立文化施設と芸術団体、市民団体の三者が連携協働し、子どもたちと舞台芸術との出会いを創出する「ジョイントフェスティバル協議会」で、子どもたちが豊かな文化環境の中で育つことを目指している。

菊川 穰

一般社団法人エル・システムジャパン 代表理事、公益財団法人音楽文化創造 理事

1971年神戸生まれ。2～5歳をフィンランドで過ごす。1995年ロンドン大学ユニバーシティカレッジ 地理学部卒業。1996年同大学教育研究所政策研究修士課程修了（M.A）帰国後、社会工学研究所を経て、1998年より国連教育科学文化機関（ユネスコ）南アフリカ事務所勤務。2000年より国連児童基金（ユニセフ）レソト、エリトリア事務所勤務。2007年財団法人日本ユニセフ協会へ移り、J8サミットプロジェクトコーディネーター、団体・組織事業部を経て、2011年3月より東日本大震災緊急支援本部チーフコーディネーター。2012年3月、一般社団法人エル・システムジャパンを設立し以降現職。

大谷 邦郎

グッドニュース情報発信塾 塾長

1984年、株式会社毎日放送入社。40歳代半ばまでは大半を「記者」として過ごし、テレビでは経済番組のプロデューサーとして活躍。ラジオ時代には放送業界では最高峰の賞「ギャラクシー賞大賞」や「民間放送連盟賞最優秀賞」などを受賞、その後、ラジオ報道部長、宣伝部長などを歴任。取材する側、取材される側をともに経験したことにより、情報発信に関する独自のノウハウを蓄積。2016年に毎日放送を早期退社し、グッドニュース情報発信塾を立ち上げ、現在に至る。情報発信の各種セミナーの講師やコンサルタントとして活躍中。また講義作家、追手門学院大学「笑学」研究所客員研究委員の肩書きも持つ。